

<平成 27 年 4 月 14 日発表>

東南アジアへ初進出

タイ・バンコクに『ソラリア西鉄ホテル』を出店します

- 西日本鉄道(株)では、タイ・バンコクに宿泊主体型アッパーグレードホテル「(仮称)ソラリア西鉄ホテルバンコク」を出店します。
- 今回の出店は「ソラリア西鉄ホテルソウル」に続く、ホテル事業の海外第 2 号店であり、東南アジアへの初進出になります。“新たな成長に向けた挑戦”としてホテルの海外展開を推進することで、国内外における「Nishitetsu」ブランドの価値・イメージ向上と「SOLARIA」ブランドの国際的認知度の向上を目指します。
- バンコクは、タイ経済だけでなくインドシナ半島の経済圏の中心地であり、日系企業も多く進出しています。また、アジアで最も多くの外国人が訪れる、世界有数のハブ機能を持つ都市であり、日本人の渡航者数も年間約 150 万人とビジネス・観光両面でホテル需要の高い地域です。
- ホテル計画地はバンコクの主要エリアである「スクンビット・アソークエリア」に位置します。スカイトレイン(BTS)アソーク駅に隣接し、地下鉄(MRT)スクンビット駅から徒歩 1 分、スワンナプーム国際空港からも鉄道(エアポートレイルリンク、MRT)で 30 分強と、交通アクセスに優れています。周辺には大型商業施設や高層オフィスビルが立ち並び、終日多くの人でにぎわう、観光・ビジネス両面で人気の高いエリアです。
- ホテルの規模は 20 階建て、客室 250 室程度を想定しており、最上階にはフィットネス施設(ジム・プール)を配置する予定です。タイのホテルでは少ない温水洗浄便座を設置し、水周りをセパレートにするなど、これまでのノウハウをベースに機能的でデザイン性のある客室をご提供いたします。また日本食のご提供や日系ホテルである事をアピールすることで周辺ホテルとの差別化を図ります。
- 当ホテルは平成 28 年に着工し、平成 30 年の開業を目指します。料金や施設の詳細につきましては、改めてお知らせいたします。

■ 「(仮称)ソラリア西鉄ホテルバンコク」出店の概要

【開業予定】	平成 30 年
【所在地】	タイ王国 スクンビット ソイ 14 アソーク バンコク
【延べ床面積】	約 16,000 m ² (約 4,870 坪)
【客室数】	約 250 室
【ターゲット】	日本人のビジネス・観光利用をはじめ、外国人観光客やビジネスマン
【投資額】	約 60 億円
【立地】	○ホテル・レストラン・商業施設が集積するスクンビットエリアに位置 ○スカイトレイン(BTS)アソーク駅に隣接し、地下鉄(スクンビット)駅からも徒歩 1 分と非常に優れた交通アクセス

